

「パブリックコメント制度」提出意見に対する考え方

1 案件名	越前市総合計画について
2 実施日	平成18年12月15日～平成19年1月10日
3 趣旨	<p>平成17年10月12日に、旧武生市と旧今立町は、歴史と文化、地域の特性を共有・融合しさらなる持続的発展をめざして合併し、『越前市』が誕生しました。</p> <p>この『越前市総合計画』は、21世紀における新しい本市のまちづくりを市民と行政が一体となって推進していくことを目的に、本市最初の総合計画として策定するものです。</p> <p>また、本計画は、本紙の将来目標と、それを達成するための市政の基本方針を総合的かつ体系的に示し、計画的に運営していくための指針として、行政計画における最上位計画として位置づけられるものであり、将来のまちづくりの規範となるもので、市民や団体等と市が、まちづくりに取り組んでいくための共通目標を示すものです。</p> <p>このことから、皆様のご意見・ご提案をお伺いします。</p>
4 意見提出者数	5人

5 意見に対する考え方

1	パブリックコメントで寄せられた意見
	<p>総合計画と中心市街地活性化プランの双方にダブルというか、上下関係的にどの部分が総合計画のなかに吸収されるのか。その系統的整合性を双方の担当者が「すり合わせ」しないと、受け皿となる地区自治振興会の『3年間プラン』等に吸収し登載できない。早い将来、こうした「計画」、「プラン」の一元化、整合性を調整してほしい。実施するのは現場(=自治振興会)なのだから十分考えてほしいと思う。</p>
	市の回答文
	<p>「総合計画」は、市の最上位計画であり、市がめざすまちづくりの指針として、基本政策を示すものであり、今後の10年間を展望する「基本構想」、基本構想を達成するための5年間の「基本計画」、基本計画に基づく具体的な事業を定める3年間の「実践プログラム」の3層で構成されます。</p> <p>また、現在、「中心市街地活性化プラン」などの各種計画を立案しているところであり、これらの計画は総合計画を具体化するための個別計画として捉え、あわせて整合性につきましても配慮しております。</p>
2	パブリックコメントで寄せられた意見

	<p>元気な人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間力を高める教育とは一体どのようなことですか？このような言葉があるのですか？難しい語句の羅列でなく、よく分かる表現にしてはどうですか。 ・今最も大切なことは教育です。家庭、学校、社会に対してどのようなことを？親と子の絆の大切さが問われている時です。
	市の回答文
	<p>「人間力」という言葉は、例えば、文部科学省が平成14年に発表した「人間力戦略ビジョン」で使用されております。そこでは、自ら考え行動するたくましい日本人、「知」の世紀をリードするトップレベルの人材の育成、心豊かな文化と社会を継承・創造する日本人、国際社会を生きる教養ある日本人の育成が目標として掲げられております。</p> <p>今回の総合計画試案においては、市民に「生涯にわたり豊かな歴史や伝統・文化に育まれながら、命を慈しみ知恵にあふれてたくましく生きる力」を育成することを教育の目標としておりますので、そのような内容を端的に表現するために、「人間力を高める教育」という言葉を使わせていただきました。</p> <p>学校では、存在感や自己実現の喜びを実感できるような一人ひとりを大切にしたい学校づくりを進め、家庭では、基本的倫理観の涵養を、地域社会では、地域ぐるみの子供の育成など、それぞれの役割をしっかりと果たしていくことが大切です。</p> <p>それとともに、家庭・学校・地域社会が緊密に連携し取り組んでいくことが求められています。</p>
3	パブリックコメントで寄せられた意見
	<p>私地区の限定意見になることとお許し願いますが、以前地区の商工会にも言った事ですが、味真野地区には史跡が多くあります。できれば市のリサイクルによって来た自転車を配備貸し出し、ボランティア案内に依る史跡めぐり、体の健康作り一つとしても活用できるのではと思います。越前の里、菊花園とも垣根を越えた協賛ができれば一層効果が上がると思われれます。ただ、取り組みが所属する人たちが真剣に取り組むや否やによっても結果が変わるかもしれませんが。</p>
	市の回答文
	<p>昨年6月の機構改革により、越前の里、菊花園とも観光振興課の所管施設として一体管理することとし、両施設来館者の交流促進に努めているところです。</p> <p>さて、菊花園では、南越清掃組合でのリサイクル自転車を6台配備し無料で貸出しています。今後もしサイクル自転車の管理を引き受けていただける施設には自転車を配置していきたいと考えています。</p> <p>また、「武生の語り部」による史跡案内(要予約)もできます。</p> <p>市は味真野地区と今立地区を観光ゾーンとして位置づけ、一体となった取組みなども推進していくこととしております。</p> <p>魅力ある観光資源とするためには地元団体などとの協働は不可欠であり、今後も連携をさらに深めてまいります。</p>

4	<p style="text-align: center;">パブリックコメントで寄せられた意見</p> <p>どこへ行くにも、何をすることも、目的達成の為に、車が無いと動けない・・・が福井県のイメージ。そこで、“越前市では、車が無くても動けるよ”への対策がまず第一。経済成長よりも人の営みを豊かにと考えた時、それが出来れば地球温暖化防止に一役大役。自然保護が守られ、ここで子供を産み育てたいと願い、人との自然な触れ合いも昔に戻って増え、元気な人、元気になる人となり、快適、安心、安全な素敵な市民、市へと成長出来るように思える。新幹線より路線バス、きっと多くの市民の願い。</p>
	<p style="text-align: center;">市の回答文</p> <p>市民に直結する公共交通機関は、かつては路線バスであったと認識しております。ところが、利用者不足により廃線や縮減の一途であるのが現実です。市では、路線バスの運行支援とともに、市民バスの運行を再編し平成19年度から本格運行を行い、市民の身近な足として、利用しやすい「市民バス」としたいと考えております。あわせて、利用者増加のための施策も継続して行いながら、快適な交通体系を確立してまいります。</p> <p>しかしながら、路線バスも市民バスも、実際に利用していただく方がいなければ縮減廃止せざるを得ない状況であります。市民の皆様も、福祉・環境等の面からの必要性も認識いただき、積極的にご利用いただけますようお願いいたします。</p> <p>また、快適な環境を守っていくためには、化石燃料の過度な消費を避け、自然との共生を図る街づくりが大切です。市民同士の相乗りやイドリングストップなど、ライフスタイルの見直しとともに、いかに省エネルギーにつながるかを考えた施策展開が重要だと認識しております。</p>
5	<p style="text-align: center;">パブリックコメントで寄せられた意見</p> <p>情報化社会の中にあって、最も難しい問題の一つにパブリックコメント、プライバシーの侵害の判定が挙げられる。報道の自由は守らなければならないが、一方では基本的人権も守られるべきである。その人の幸福を守ることでもある。報道にあたる人々は、その良識を忘れてはならないと思っております。あたらしい年、2007年は期待に乞う年であることを願いつつ。</p> <p style="text-align: center;">市の回答文</p> <p>憲法では、国民の権利として、表現の自由を、一方で義務として、これを濫用してはならないとうたっております。</p> <p>また、高度情報社会の進展に伴い、個人情報利用が著しく拡大していることに鑑み、個人の権利利益を保護することを目的に個人情報保護法が制定されました。</p> <p>市としても、「越前市情報公開条例」「越前市個人情報保護条例」を定め、開かれた市政運営と同時に、個人情報の適切な取り扱いの確保に努めています。</p>